

## 宇都宮市都市再生整備計画評価委員会 議事録

- 日時 令和6年2月16日（月）午前9：00～午後3：00
- 場所 宇都宮市役所14D会議室，ライトキューブ宇都宮 小会議室105・106

### ○ 出席者

#### 委員

池田 裕一 委員 大森 玲子 委員 古賀 誉章 委員 渡邊 美樹 委員  
高橋 功 委員

#### 臨時委員

檜山 昌彦 委員 大森 幹夫 委員

#### 幹事

黒崎 泰広 幹事 檜宿 拓史 幹事 篠原 永知 幹事 今井 正久 幹事  
鎌田 淳 幹事 上田 英夫 幹事 石川 弘 幹事 小林 裕 幹事  
早川 光夫 幹事（渡邊 哲郎 幹事代理） 石川 和則 幹事

#### 事務局

都市整備部 市街地整備課 山崎課長補佐  
管理グループ 湯澤係長 豊田総括 古俣主任 大谷主事  
企画グループ 朝日係長 金田主任 上田主任技師

### ○ 議事録

#### 1 開会

#### 2 挨拶

#### 3 宇都宮市都市再生整備計画評価委員会について

##### (1) 委員の紹介

##### (2) 委員長の選出について

互選により，委員長は池田委員を選出。職務代理者に大森委員，議事録の署名者に古賀委員と高橋委員を選出。

その他，会議の開催について，「委員総数の過半数が出席していること」に対し，全員が出席していることから会議が成立していることを事務局より報告。

#### 4 会議の公開について

宇都宮市情報公開条例に基づき公開の会議とする。なお，傍聴者は無しである旨を事務局より報告。

#### 5 議事

##### ○ 「都市再生整備計画 宇都宮都市拠点地区（地方再生コンパクトシティ）」について

事務局	資料1-1，資料1-2に基づき整備計画について説明
池田委員長	説明が終わりました。ご意見・ご質問がございましたか。
檜山委員	資料1-1の6ページの「目標を定量化する指標」について，ソフトの「提案事業」で居住促進事業があるかと思いますが，居住者の増加などを示す指標を掲げなかった理由を教えてください。

事務局	<p>本市も計画を策定した前年に人口減少に突入しており、目標設定が難しかったため、指標設定を見送ったものです。参考となりますが、本市の人口の現状については、市全体の人口は平成29年度をピークに、その後、減少しており、平成28年度から令和4年度にかけて約0.8%減少しております。それに対し、都市拠点地区は、同期間で約0.2%の減少であり、これまでの居住誘導に資する事業などの効果により、減少傾向が緩やかになったと考えております。</p>
高橋委員	<p>資料1-1の10ページの目標4の防災機能強化に資する主な事業として、3つ挙げられていますが、事業内容について具体的な説明をお願いします。</p>
事務局	<p>宇都宮駅東口地区整備事業の防災機能強化に資する事業について説明します。</p> <p>1つ目の「交流広場」については、地震等の災害があった際に、一時的に滞留できるスペースとして利用可能となっており、人が多い駅の近くということで、様々な方が利用されることを想定しています。</p> <p>2つ目の「地域交流センター」ですが、ライトキューブの施設内に「ホワイエ」という広場空間があり、一時的に滞留できるスペースとして利用可能となっております。</p> <p>3つ目の「備蓄倉庫等」については、広さが約38㎡あり、生活必需品となる毛布や非常食、飲料水、マスクなど、2,500名分を確保しております。</p>
古賀委員	<p>資料1-1の13ページのシェアサイクルの実証実験について、サイクルポートが宇都宮駅の西側にしかないのですが、これに対する意図や戦略があれば教えてください。</p>
道路建設課 今井幹事	<p>当時は本市初のシェアサイクルの実証実験ということで、JR宇都宮駅から東武宇都宮駅にかけて設置いたしました。その実証実験を受けて、令和5年度には、宇都宮駅の東側にもサイクルポートを増やしたところです。</p>
池田委員長	<p>それでは、他にも質問や意見があるかと思いますが、この後、現地視察がございますので、移動や現地での説明の中でご質問いただければと思います。</p>

## 6 現地視察

※会議行程は、5議事「都市再生整備計画宇都宮都市拠点地区（地方再生コンパクトシティ）」  
→6現地視察 →5議事「都市再生整備計画の事後評価」の順

## 5 議 事（再開）

### ○「都市再生整備計画の事後評価」について

事務局	<p>資料 2-1, 資料 2-2 に基づき、事後評価について説明</p>
池田委員長	<p>ありがとうございました。それでは、事後評価について審議を行います。確認ですが、審議により資料の修正が必要であれば行うということによろしいですか。今後の手続き等について改めて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事後評価の手続きについてご説明させていただきます。 これまでの取り組みとしては、資料 2-2 事後評価シートを作成し、資料の公正さの確保や透明性を図るため、広く市民の意見を募るパブリックコメントを昨年の 12 月に行い、その結果、意見はありませんでした。今回の事後評価委員会により、ご審議いただきます。今後は、その内容を踏まえ、必要に応じて資料の修正等を行い、最終版を 3 月に国土交通省へ提出したいと考えております。また、国土交通省への提出と合わせて、市のホームページで公表という手続きをとりたいと考えております。そのように進めていきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p>
池田委員長	<p>事務局より、事後評価の手続きについて説明がありましたが、意見等ありますか。また、説明内容については、「宇都宮市都市再生整備計画評価委員会設置要綱」第 3 条 所掌事務のうち、「(1)交付対象事業の事後評価手続きに関する事」の審議と捉えてよろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
池田委員長	<p>事務局からの手続きの流れの説明をもって審議とします。それでは、資料についてご質問がありましたら、よろしく願いいたします。</p>
大森玲子委員	<p>2 点質問があります。まず 1 点目は、資料 2-1 の 6 ページ【指標 1】空き店舗数ですが、都市機能の集積や来街者の増加等による中心市街地活性化を定量的に分析するために設定されているものと理解しているが、従前値の 41 店舗から評価値の 16 店舗となり、25 店舗減ったということですが、この 25 店舗は、新たな店舗が入ったのか、あるいは店舗自体が無くなってしまったのか、もし、入居した店舗があるのであれば、どのような業種で中心市街地活性化にどのように役立ったのか教えてください。</p>

<p>商工振興課 檜宿幹事</p>	<p>【指標1】空き店舗数について、減った25店舗は、空き店舗から別の用途に利用されたというわけではなく、新たな店舗が入っております。業種については、様々な業種が入居しておりますが、主に飲食業の割合が多くなっております。色々なお店で食べ歩きができ、集客性があるということで、まちなかに人を呼び込むなどの効果があると思っております。</p>
<p>大森玲子委員</p>	<p>2点目、資料2-1の10ページ【指標5】地区公園及び近隣公園の利用可能人数について、目標値の達成には至らなかったとのことですが、この計画のまちづくりの目標のうち、関連したものとして「目標2 子どもから高齢者まで誰もが安心して快適に暮らせる、都市環境を形成する。」とあるので、ひとまとめに人数ではなく、世代別でどのような方々が利用しているのか、例えば、従前では高齢者の利用が少なかったが、整備後は増えているとか、またその逆があったとか、そのあたりの効果が見てとれば、この指標の効果を補うものとして評価できると思うのですがいかがでしょうか。</p>
<p>公園管理課 石川和則幹事</p>	<p>【指標5】について、まず従前の水上公園は、プールが主な施設であり、主な利用者は子どもだったと思います。東日本大震災を契機に、施設がダメージを受け、長い間公園を閉鎖していた経緯があります。</p> <p>ご指摘があった点について、子どもから高齢者まで多くの方々に公園を利用していただく施設として整備計画に特徴づけており、入り口付近に、幼児が喜ぶような安全に配慮した複合遊具があり、公園の奥に進むと、高齢者の方々の健康維持に役立つ健康遊具を配置しました。このようなことで、幅広い世代の方にお楽しみいただけるような、様々な施設内容としたところです。</p> <p>ご意見頂いた目標と指標につきましては、大きい規模の公園に、市民の方々が日常生活の中で歩いて行け、容易に利用できるような整備をするということで設定させていただいたところです。</p>
<p>大森玲子委員</p>	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
<p>檜山委員</p>	<p>資料2-1の9ページ【指標4】オリオン市民広場の集客数について、新型コロナウイルスの影響でイベントが非常に少なかったかと思いますが、従前値と評価値の年における1回あたりのイベント集客数の平均値を補足的につけられるのであれば良いのではないかと思います。単純に年間だけで見ると厳しい数値が出る</p>

	<p>のは仕方ないと思うので、そういった形で補足してもいいのかなと思いましたが、意見とさせていただきます。</p>
<p>商工振興課 檜宿幹事</p>	<p>イベント回数の実績は、従前値の平成 29 年度で 254 回、評価値の令和 4 年度で 199 回です。イベント集客数の平均値につきましては、新型コロナウイルスが流行していた時期で人数制限を行っていたところでありました。今後、そういった平均値の採り方などについても参考にさせていただければと思います。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>池田委員長</p>	<p>この指標は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 2-2</span>にあるとおり、令和 7 年 3 月に集客数の実績を確認することでフォローアップを行い、評価するということがよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>池田委員長</p>	<p>今回はこのままの数値で評価するとし、来年度のフォローアップでは、評価値を再確認するとともに檜山委員が仰っていた点も補足できるといいかもしれませんね。</p>
<p>事務局</p>	<p>参考にさせていただきます。</p>
<p>大森幹夫委員</p>	<p>私は「宇都宮市もったいない運動市民会議」の副会長をしており、今年度、そういった団体等のイベントが宮みらいライトヒル等で行われたと記憶しています。イベントでの反省点等があったのではないのでしょうか。例えば「もったいないフェア宇都宮」の時の経験ですと、暑い時期に行われたのですが、日影がなく、暑い中で立ち続けなければならない点や、屋外の水場がない点など、もう少しイベント関係者が使いやすくなるよう改善が必要ではないかなと思いましたが。</p> <p>もう一つ、オリオン通りですが、昔と比べ、居酒屋などの飲食店の数が増えており、7割くらいが飲食店になったと感じております。昔は八百屋や魚屋があり、日中は主婦の方々が出入りするような通りでした。市として、飲み屋街中心ではないまちづくりの考え方を示してもいいのかなと思っており、女性が安心して過ごせるような通りにして欲しいです。</p>
<p>市街地整備課 石川弘幹事</p>	<p>宮みらいライトヒルの件について、今後イベントの開催にあたり、ご意見を参考にし、施設指定管理者と相談するなどして、工夫できればと思います。</p>

商工振興課 榎宿幹事	<p>オリオン通りの飲食店の件について、最近、飲食店の数がかなり増えており、皆様ご承知のとおり、オリオン通りの治安について、課題が出てきたところでございます。それらを踏まえまして、昨年11月に市、商店街、商工会議所、警察が組織体をつくり、「オリオン通り治安維持対策会議」を実施し、オリオン通りの治安を改善しようという動きをしております。併せまして、商店街で、今後どのような商店街をつくっていきたいかをテーマとして、話し合う予定となっておりますので、地元の商店街の方の意見を聞きながら、オリオン通りをどうしていくかを考えてまいります。</p>
高橋委員	<p>3点確認させてください。1点目は、資料2-1の10ページ【指標5】のフォローアップとして、11ページの「その他の数値指標1」を新たに設定したとのことですが、これは両方の指標について評価するということか、それとも【指標5】の代わりに「その他の指標1」を設定するということか。</p>
事務局	<p>評価については、【指標5】と「その他の数値指標1」どちらも残ります。指標5については、公園が利用可能となる地域は拡大したものの、人口減少の影響もあり、今後においても目標達成の見通しは立ちませんが、今回の評価値は目標を達成しない形で残します。そのため、改めて人数ではなく、利用範囲という視点から「その他の数値指標1」を設定し、フォローアップをさせていただいており、両方の指標を公表していく考えです。</p>
高橋委員	<p>分かりました。【指標5】だと、公園の整備により、誘致圏域が広がったことにより利用者の人口は増えたと思うが、人口減少は見込めておらず、達成は難しかったと思いますが、それに対して、新たな指標を設定したことよいと思います。</p> <p>また、「目標4防災機能の強化」に対して定量的な指標がないことを懸念していたが、新たに「その他の数値指標1」が加わることで、防災機能の強化の指標に資することにもなりますので、この指標は大変良いと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。防災機能の強化を定量的な指標として設定することは難しいと考えておりましたが、そうした中で、公園の利用範囲と合わせて、一時避難場所も増えるので、防災の強化にも繋がっていることを改めて確認できました。</p>
高橋委員	<p>次に、2点目ですが、駅東口の帰宅困難者の話で、備蓄倉庫に</p>

	<p>2,500枚の毛布等が常備されていて、多くの帰宅困難者の受け入れができるということでした。資料2-2の「4) 定性的な効果発現状況」には、防災機能の強化という観点が示してありますが、さらに成果として、「5) 実施過程の評価」にも、防災機能の強化を記載してもよいと思いますが、検討できますか。</p>
事務局	<p>防災機能の強化の記載について検討させていただきます。</p>
高橋委員	<p>分かりました。3点目は確認のみとなりますが、宇都宮駅東口地区の複合施設棟2について、計画見直し中であるとのことだが、検討状況を教えていただければと思います。</p>
市街地整備課 石川弘幹事	<p>3点目の駅東口整備事業の複合施設棟2ですが、ハイブランドなホテルを誘致する予定でございます。しかし、新型コロナウイルスの影響やインバウンドの需要が低迷していた経緯や、ロシア・ウクライナの戦争の影響等による資材や燃料等の高騰が続いていることもあり、施設誘致に向け、事業者であるうつのみやシンフォニーと共に、ホテル運営候補者や整備事業者とヒアリングを継続実施しているところでございます。本市としても必ず実現すべき施設と考えておりますので、引き続き着実に整備を進めていきたいと考えております。</p>
高橋委員	<p>ありがとうございました。最後に、要望ですが、「今後のまちづくりの方策」では、今回ひとつひとつの事業がまとまることで面の整備計画として整理されており、その効果が市民にも分かり易く整理されていると思います。</p> <p>宇都宮のまちづくり、特に西側では宇都宮駅西口整備事業、LRT整備事業、都心部まちづくりプラン等、様々な事業があり、まちが大きく変わろうとしています。1つ1つの事業が個々の計画に基づいて動いていくとは思いますが、今回のような全体を俯瞰するような計画があると分かり易いです。</p> <p>今後こういった事業計画が策定される際には、分かり易く整理し、効果を上手に表現してもらえたらと思います。</p>
市街地整備課 石川弘幹事	<p>今後、まちづくりの効果について、西側へのLRT延伸もありますことから、分かりやすく、皆様に伝えていけるように努めてまいります。ご意見ありがとうございました。</p>
渡邊委員	<p>1点目、まちづくりの目標の「目標4」の防災機能の強化が、「目標2」の誰もが安心して快適に暮らせるという点に繋がると</p>

	<p>思うのですが、駅東口の備蓄倉庫について、調べたところ宇都宮駅の1日の乗降者数が30,000人を超えているということで、帰宅困難者に対して2,500人分の備蓄がどれだけの安心を担保できるものなのかが気になりました。また、備品が保管されている場所は機械室でもあると思うのですが、備蓄倉庫として作られているものなのか疑問を感じました。大きな地震があり、機械室の配管等が破損すると中の備品が使用できなくなることや中へ入れないというようなことがないか心配です。</p>
<p>事務局</p>	<p>備蓄倉庫の備品について、2,500人まではライトキューブで受け入れられるという考え方をしています。現在、駅西口で実施しております再開事業では、同じような考え方で帰宅困難者を受け入れるスペースや備蓄倉庫を整備することにしております。</p> <p>そして、新たに事業化していく再開事業においても、帰宅困難者の受入れなど、防災施設を民間事業者にもつくっていただくといった、様々なところで防災期の強化の体制づくりを進めているところです。続いて、備蓄倉庫が機械室の中で大丈夫なのかという点ですが、こちらについては、充足しているものとして考えておりますが、改めて設計会社等に確認いたします。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>2点目、水上公園は災害時の一時避難場所となっておりますが、浸水時は使用できないことや、かまどベンチは炊き出し場の数として十分なのかということが気になりました。目標に対して、指標の項目がなかったのも、他の目標に対する事業効果と比べて、安心安全に関してどれほどの取り組みがなされていて、どのように評価をするのか、また、従来ある防災機能も併せて考え、評価する方法もあると思いました。他のことについては、様々な熱心な取り組みをされていて評価をした次第です。</p>
<p>公園管理課 石川和則幹事</p>	<p>水上公園に対するご指摘ですが、水上公園は地形上、田川に接しており、浸水時には一時避難場所として機能できませんが、浸水被害を防ぐために地下貯留浸透施設を設けています。また、一時避難場所として主に機能させていく場面は、地震等があった場合の避難場所ということを考えてところであります。また、ご覧いただいた有事の際の施設の数量の考え方ですが、広場に可能な限り人を収容した際に、その方々が利用する場合に必要な数量を算出したものです。</p>
<p>池田委員長</p>	<p>今回ハザードマップは配布資料に入っていなかったのですが、浸水被害の状況や位置はあらかじめ決まっているので、大雨の時</p>



	<p>に使える避難場所は水上公園以外の他の場所が指定してあるという理解でよいのでしょうか。</p>
市街地整備課 石川弘幹事	<p>他の公共施設等を避難場所として指定しております。</p>
池田委員長	<p>先ほどの帰宅困難者の人数の話ですが、目標がないと物事を進める上で、優先順位が変わってくるなどもあるかと思うので、目標の人数設定について検討してほしいと思います。</p>
事務局	<p>参考にさせていただきます。</p>
古賀委員	<p>まず所感として、この補助金は、様々な事業に使える補助金なので、多岐に亘る事業に効果的に使われているという印象があります。</p> <p>指標の設定について、人口減少や新型コロナウイルス感染症で設定が難しいのは分かりますが、例えば「指標4」オリオン市民広場の集客数について、全国のイベント動員数は何割減っているが、オリオン市民広場はそれほど減らなかったなど、相対的な指標化は可能だと思います。「指標5」地区公園及び近隣公園の利用可能人数についても、人口減少はしているが、減少率が少なめであったなどという評価はできるのではないかと感じました。「その他の数値指標1」地区公園及び近隣公園の利用範囲は、整備した時点で確定する面積ベースなので、目標値をクリアするのは当たり前であり、あまり指標としては好ましくないと思いました。また、ライトキューブの備蓄倉庫の件ですが、先ほど渡邊委員から指摘があったように、機械設備がある空間に備蓄してよいのか疑問を感じました。また備蓄倉庫専用の部屋はあった方がよいですが、38㎡しかないというのは小さいと感じました。ただ、帰宅困難者対策はサービスに近いものがあるかと思しますので、努力目標に近いと感じました。しかし、まちが発展すればするほど、帰宅困難者は増えるので、何かしらの目標を立てて取り組んだ方がよいと思いました。</p> <p>次に確認事項として、1点目は「指標3」歩行者・自転車通行量の計測で、6箇所のうち1箇所がカウンターの故障により計れなかったとのことですが、計りなおすのもよいですが、故障した箇所そのものを計測地点から外して5箇所と比較すれば良いかと思いますが、計測しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>1点目の「指標3」歩行者・自転車通行量について、評価表に</p>

	<p>記載する数値は、そのままとさせていただきたいと思いますが、参考として、故障箇所を除いて計測できると思うので、引き続き、内部データとして、蓄積しながら分析していきたいと思ひます。</p>
池田委員長	<p>参考資料として添付することで説得材料になると思ひますので、引き続き、願ひします。</p>
古賀委員	<p>2点目は水上公園の防災の観点からすると、指標化するの難しいと思ひますが、公園を整備し一時避難場所に指定したことで、避難する距離が短くなるという考え方もあると思ひます。都市拠点地区の区域の中だけで話をしてはいますが、区域外の人も便益を得ていると思ひるので、人ではなく、距離や時間で計るという方法もあるので、その点も含めて評価する方法を検討しても良いと思ひます。</p>
公園管理課 石川幹事	<p>2点目の水上公園の防災指標については、ご指摘のとおり、多角的な見方で、公園を整備したことで得られる防災面での効果を示すことも有効と考えますので、参考にさせていただきたいと思ひます。</p>
古賀委員	<p>3点目について、今回整備した都市拠点地区の区域は市の都心部になるかと思ひます。資料の中で度々出てくるネットワーク型コンパクトシティ（以下、「NCC」という。）ですが、今回その中核部分が整備箇所となっており、この外側には小さなネットワークの拠点があるわけですので、中核部を整備することが、NCCに繋がるという点をより丁寧に説明したほうがよいと思ひます。なぜかという、外の拠点を全く無視して、中核部だけ発展させる考え方もあるので、それとの違いについてNCCを絡めた話をするときは、必要な論述なのではないかと思ひます。</p>
NCC推進課 上田幹事	<p>3点目について、今回は都市拠点のまちづくりについての計画なので、NCCとの関わりが見えにくい計画になっております。</p> <p>一方で、都市拠点地区以外の各地域に設置している身近な拠点では、生活に必要な機能を誘導する拠点形成の取り組みを立地適正化計画で推進しているところです。そして、市域内のどなたでも高次の機能が共有できるようまちなかに多様な機能を誘導し、そのまちなかと郊外を、LRTをはじめとした、階層性のある公共交通ネットワークでつなぐというのが、本市の目指すNCCであります。そのため、市の目指すNCCの理念を追加すれば、都</p>

	市拠点地区のまちづくりの必要性がわかると思うので、記載内容について事務局と相談します。
池田委員長	<p>ひととおり、委員の皆様の意見・質問が出たと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>宇都宮駅東口の交流広場の日陰が全くないという話もそうですが、都市環境形成は整っているものの、使う側の身になった議論が不足していると感じました。今回は整備そのものの話ですが、整備された上で、暮らしや活動がどれほど良くなったかというのは、まだこれから把握していくものであると認識してほしいと思います。水上公園でも有事の際のかまどベンチの利用など、実際にやってみると想定と違ったというようにならないようにするため、防災フェアを実施するなどで試してみるなど、そういうものをつなげていき、検討していくことが必要ではないでしょうか。</p> <p>最後に、今回いくつかご意見をいただいたことを踏まえ、資料を修正することになると思いますが、修正にあたっては、時間の関係や手続きもございますので、恐縮ですが、委員長に一任していただくことでよろしいでしょうか。</p>
委員一同	異議なし

## 8 その他

池田委員長	皆様から何かありますでしょうか。
事務局	本日の議事録につきましては、速やかに作成し、委員の皆様にご確認いただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。事務局としては以上です。
池田委員長	以上で本日の議事を終了いたします。皆様、忌憚のないご意見をいただき、ありがとうございました。

## 9 閉 会